

超高齢社会における エンドオブライフケアの在り方

人生100年時代となり長寿社会となりましたが、終末は避けて通れない、いつかは誰もがたどる道です。では皆さんは、どのような最期を迎えたいと思いますか？

この講座では、1000人以上の在宅看取りをされてきた小笠原文雄氏から、旅立つ人も見送る人も笑顔になれる最期の迎え方を学びます。また、在宅支援者として活躍する作業療法士の実践報告を通し、支援者の役割について論議します。穏やかな笑顔で迎えられる最期について一緒に考えてみませんか。

日時：平成30年 12月9日(日) 13:40~16:30

会場：山梨英和大学

参加費：無料 申し込み：不要



第一部 シンポジウム

「QOLからQODまで、作業療法士にできること」

座長：磯野 弘司 (春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

シンポジスト：鈴木 謙 (巨摩共立病院)

長坂 真由美 (甲府城南病院)

関谷 宏美 (甲州リハビリテーション病院)

時間：13:40~15:10

第二部 特別講演「なんとめでたいご臨終」

講師：小笠原文雄氏

時間：15:20~16:30

おがさわら ぶんゆう
小笠原文雄氏



医療法人聖徳会 小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック 理事長兼院長
日本在宅ホスピス協会 会長
在宅医療の第一人者としてテレビ、ラジオ、新聞など多くのメディアに出演。また、全国各地にて講演会を行っている。「上野千鶴子が聞く。小笠原先生、ひとりで家で死ぬますか？」朝日新聞出版 2013年、「なんとめでたいご臨終」小学館 2017 など多くの著書がある。

《後援》

山梨県、一般社団法人山梨県医師会、公益社団法人山梨県看護協会、社会福祉法人山梨県社会福祉協議会、一般社団法人山梨県民間病院協会、山梨県リハビリテーション病院・施設協議会、山梨県精神科病院協会、山梨県老人保健施設協議会、山梨県精神保健協会、一般社団法人山梨県介護支援専門員協会、一般社団法人山梨県介護福祉士会、山梨県精神保健福祉士協会、山梨県医療社会事業協会、山梨県臨床心理士会、一般社団法人山梨県理学療法士会、一般社団法人山梨県言語聴覚士会、公益社団法人認知症の人と家族の会山梨県支部 (あした葉の会)